

「コウノドリ」に紹介されました

(室月 淳 2015 年 6

月 14 日)

週刊モーニングの最新号(28号 2015.6.25)の人気連載マンガである鈴ノ木ユウ「コウノドリ」に、当院の「祈りの部屋」がとりあげられました。以前にマンガ家の鈴ノ木さんと編集者の小林さんが当院にいらっやって、そのときの取材に基づいたものです。

現在進行中のシリーズ「長期入院」編では3人の妊婦さんが主人公です。そのなかのひとり、西山さんは妊娠 35 週で突然の胎児死亡をおこします。産声の響かない静かな分娩室で死産をむかえる先週号のラストシーンは、結構みな涙をさそっていました。

今週号では、なくなった子と家族が「祈りの部屋」で病院スタッフとお別れし退院していきます。鴻鳥先生のモノローグ……「ボクらはいつもここから見送るたびに、何ができるのか、何ができないのか、自問している。たとえそれがボクらの自己満足だとしても」



「天井も高くて明るいんですね」というのは、はじめてこの部屋にはいったかたみながおっしゃる感想です。



祈りの部屋の実際の光景



スタッフによる最後の見送りの雰囲気がよく描かれていると感心いたしました。



鈴木ユウ
@suzunokiyou



フォロー中

本日発売のモーニングにコウノドリ、掲載されています！是非読んでみて下さい。今回、出てくる「祈りの部屋」は宮城県立こども病院取材させて頂いた際に見た、実際も「祈りの部屋」という名の部屋です。資料を頂いたり、色々な話を聞かせてくれた産科部長の室月先生、スタッフの皆様に感謝です！



60

リツイート

47

お気に入り



17:57 - 2015年6月10日

鈴木さんのツイッターから引用させていただきました。こちらこそご紹介くださりほんとうにありがとうございました。

ご感想ご意見などがありましたらぜひメールでお聞かせください
アドレスは murotsuki に yahoo.co.jp をつけたものです

[流死産・中絶・新生児死亡などについて](#) [にもどる](#)

[室月研究室トップに戻る](#)

[フロントページに戻る](#)

カウンタ 278 (2015年6月14日より)